



きくち こうめい
菊地 光明 議員
(新生会)

問 猫石坂の調整池は

答 解体を視野に検討

問 町道下条・浜川目線の通称猫石坂について、前回の定例会でも聞いたが、地元から猫石坂に係る陳情を令和4年度に受けてから、現在も進んでいない。調整池（水道事業において、配水の調整を目的として設置される施設）は今でも動いているのか、動いていないのか。そして今後どうするのか当局の考えを伺う。

佐藤町長 現在、狭い箇所は拡張整備の実施を見据え、道路線形の検討などを進めているところである。猫石坂頂上付近にある調整池は、現在使用されていない施設であり、今後、その解体も視野に



調整池拡大写真



長らく使用されていない猫石坂調整池

入れ、整備計画を定めていきたいと考えている。

問 用地関係者は何人くらいか。

川口建設課長 詳細な測量設計等がまだであるが、関係地権者は1

人と見込んでいる。

問 上下水道課は今後どうする考えなのか。

佐々木上下水道課長 今後の道路整備の方向性や計画を踏まえるなどして対応していくというところで考えている。

問 ホタテのへい死対策は

答 新たな養殖技術の導入検討

問 ホタテ養殖やカキ養殖については、厳しい状況が続いている。生産量を回復させるための今後の対策について詳しく述べよ。

町長 ホタテ養殖及びカキ養殖については、貝毒による出荷規制に加え、ホタテのへい死や種苗の確保が困難になるなど、大変厳しい状況にあると認識している。このような状況の中、昨年度はホタテ種苗の産地である北海

道に赴き、種苗の確保に関する要請をしたほか、県においても種苗の安定的な供給体制を確保するため、田野畑村で採苗した種苗を使った養殖試験に取り組み、町内で実施した試験でも良好な結果が得られたとのことである。今後、生産量の回復に向け、漁協や関係機関と連携するとともに、新たな養殖技術の導入の可能性について検討していく。